

朝の礼拝

聖書 申命記 7 章 6-7 節 (旧約聖書 277 頁)

あなたは、あなたの神、主の聖なる民である。あなたの神、主は、地上にいるすべての民の中からあなたを選び、ご自分の宝の民とされた。あなたがたがどの民よりも数が多かったから、主があなたがたに心引かれて選んだのではない。むしろ、あなたがたは、どの民よりも少なかった。

宝の民

神様が旧約聖書の民を「聖なる民」として選び、ご自分の「宝の民」としたとありました。確かに彼らは約束の地を与えられ、あり余るほどのパン、ぶどう、オリーブを手にししました。そして神様と約束した十の戒め、『十戒』を納める神殿を建て、王様も、軍隊も与えられ世界の富を集め繁栄しました。

ところが王様、貴族、軍人、裁判官から農民まで目に見える物の豊かさに心奪われ、力ある者におもねり、自分のことしか考えず神様を忘れました。やがて互いを疑い、絶えず争い、王は農地を没収、元気な若者は戦場へ、娘たちはパン焼き女に、幼い子ども、高齢者、病人は見棄てられ、一人残らず王の奴隷となったのです。

実は、その時に書かれたが今日の『申命記』です。彼らのどこが「聖なる民」でしょう。どうして彼らを「宝の民」とまで呼びかけるのでしょうか。そして「あなたがたがどの民よりも数が多かったから、主があなたがたに心引かれて選んだのではない。むしろ、あなたがたは、どの民よりも少なかった」と言われたのでしょうか。

彼らの振る舞い（現代も）、戦いを繰り返す歴史は神様との戒め（約束）を破り、裏切り続けた歴史とも言えるでしょう。それでもなお神様は私たちを「聖なる民」「宝の民」と言います。それは神様が自分を裏切ったものでありながらも、自ら選んだ小さきものたちを、御子の十字架の死を通して愛し通されているからです。

（しばらく黙祷しましょう）

慈しみ深い主よ、私たちは十字架へ向かうあなたの受難と復活を覚え受難節を過ごしています。どうか自己中心的な自分を見つめふり返り、あなたのまなざしを感じ互いに愛し合う道に戻らせてください。殊にわたしたち英和生は今日から一週間、世界の悪化した水質環境から幼い命を救うために、大量生産・大量廃棄される衣料の無駄（ファッションロス）から、ひとり一人が新品の服や古着を持ち寄りポリオワクチンに換える活動を始めます。ささやかな活動ですが、どうか幼い命に注がれるあなたのまなざしを覚え、隣人を、互いに愛し合う喜びへと導いてください。また年度末を迎え一年の学びをふり返っています。どうかこの体験をより自分自身にふさわしい学び、互いに学び合う喜びへと導いてください。そして愚かにも繰り返し自然を破壊し、争いを続ける人々に悔い改めの心を、嘆き悲しむ人々に慰めを、共に支え合う人々に励ましを、そしてすべての人にあなたの平和を信じる心を与えてください。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごせますように。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン